

## Q<sup>22</sup>

一次洗浄，一次消毒は不用なのでしょうか。もし必要があるとすればどのような場合ですか。

それから，汚れ除去の方法として，蛋白除去剤の使用や，ウォッシャーディスインフェクターについて教えてください。

## A

一次洗浄は英語ではdouble-handlingというように，二度手間で大不経済ですし，かつC型肝炎などの業務感染の危険性を高めます<sup>1)</sup>。したがって，一次洗浄は廃止するのが望ましいでしょう。洗浄は中央化にして，プラスチックエプロンやフェイスシールドなどの防護具を装着した専任者が行うのが望ましいといえます。

なお，一次洗浄が必要なケースとして，使用済み物品を中央処理するまでに時間がかかって，器材に付着した血液などの汚れが乾燥してしまう場合があげられます。しかし，この場合であっても，一次洗浄は避けるのが望ましいでしょう。蛋白除去剤などの散布，または中央での酵素系洗浄剤への浸漬や超音波処理などにより対応してください。

汚れの除去の方法としては，ブラッシング洗浄や浸漬洗浄などがあります。ここで，酵素系洗浄剤への浸漬洗浄では，40℃で10分以上，30℃で20分以上，20℃で1時間以上などの浸漬を行います。

蛋白除去剤は血液や体液が付着している場合に使用します。

ウォッシャーディスインフェクターによる汚れの除去は可能です。ただし，錆の付着があれば，その後の熱ヤケ除去剤による処理が必要になります。

なお，器材に乾燥血液などの強い汚れが付着していれば，ウォッシャーディスインフェクターで除去できない場合があります。その場合には，前もっての酵素系洗浄剤への浸漬や超音波処理などにより汚れの除去を行ってください。

### 文献

- 1) Shiao JSC, et al. : Sharps inquires among hospital support personnel. J Hosp Infect 2001; 49: 262-267

(尾家重治)